

LBS002

細胞培養用添加剤(個別製品名は下表の通り)

Version 003 改訂日 2012年01月20日

1. 化学物質等及び会社情報

製品情報

「亜セレン酸ナトリウム」は製品組成に混合された含有製品として供給

製品番号	製 品 名 (製品現物は英文表記)	亜セレン酸ナトリウム 含有量 [w/v%]	
17-838Z	ITS (500x stock)	─ 0.000510w/v%未満	
17-839Z	ITES (500x stock)		

会社情報

会社名 : ロンザジャパン株式会社 バイオサイエンス事業部

住所 : 〒104-6591

東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー

電話番号 : 03-6264-0660 FAX番号 : 03-6264-0601

2.危険有害性の要約

亜セレン酸ナトリウムとして

GHS分類区分

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分2 皮膚腐食性/刺激性 : 区分2 眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 : 区分2A 生殖細胞変異原性 : 区分2 生殖毒性 : 区分2

標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分2(呼吸器系、肝臓、心臓、神経系)標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分2(中枢神経系、血液、腎臓、肝臓)

環境に対する有害性

 水生環境有害性(急性)
 : 区分1

 水生環境有害性(慢性)
 : 区分1



LBS002

細胞培養用添加剤(個別製品名は下表の通り)

Version 003 改訂日 2012年01月20日

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル







環境

どくろ 健康有害性

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込むと生命に危険

> 皮膚刺激 強い眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 呼吸器系、肝臓、心臓、神経系の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復暴露による中枢神経系、血液、腎臓、肝

臓の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き 安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後はよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

粉塵、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこ

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

環境への放出を避けること。

: 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。 応急措置

口をすすぐこと。

皮膚についた場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタク トレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も

洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。 暴露又は暴露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けるこ

暴露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

漏出物を回収すること。

保管 : 施錠して保管すること。

: 内容物、容器は許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を 廃棄

委託する。



LBS002

細胞培養用添加剤(個別製品名は下表の通り)

Version 003

改訂日 2012年01月20日

3. 組成及び成分情報

【含有する化学物質の名称】 亜セレン酸ナトリウム (毒物) 【含 有 率】 下表に示すとおり

含有率 [w/v%]	含有製品の製品コード	製品数
0.000510 w/v%未満	17-838Z, 17-839Z	2

単一の化学物質/混合物 : 混合物(表中2製品すべて)

危険有害成分

成分 它報公示整理番号 CAS番号

亜セレン酸ナトリウム Na_2SeO_3 化審法 (1) -507 10102-18-8

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに被曝者を空気の新鮮な場所に移す。

鼻をかませ、うがいをさせる。速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。

製品に触れた部分を水又は微温湯で流しながら洗浄する。

眼に入った場合

・ 直ちに清浄な水で眼を洗浄した後、速やかに眼科医の診断を受け

る。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限

り、取り外して洗浄する。

洗眼の際、まぶたを指で開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水

が良く行きわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合 ・ 多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。

速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水

特有の消火方法 ・ ・ 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火作業は、可能なかぎり風上から行う。

消火を行う者の保護 : 呼吸用保護具を着用する。



LBS002

細胞培養用添加剤(個別製品名は下表の通り)

Version

003

改訂日

2012年01月20日

6. 漏出時の措置

び緊急時措置

人体に対する注意事項、保護具及 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛まつ等が皮膚に付着した

り、吸入しないようにする。

: 流出した製品が河川等に排出されて環境に影響を与えることの無 環境に対する注意事項

いように注意する。

大量の水で希釈する場合、汚染された排水が、適切な処理をされ

ずに環境へ流出しないように注意する。

回収•中和 : 漏出したものは密封できる空容器にできるだけ回収する。その

後、多量の水を用いて洗い流す。このとき、濃厚な排水が河川等

に排出されないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 情報無し 局所排気·全体換気 : 情報無し

安全取扱い注意事項 : 局所排気又は呼吸用保護具を使用すること。

眼、皮膚、衣服への接触を避ける。

取扱後に十分に洗浄する。

使用した作業衣他を持出し又は持ち帰ってはならない。

接触回避 : 情報無し

保管

技術的対策 : 情報無し

混触禁止物質 : 情報無し

保管条件 : 密封。感湿性あり。

冷乾所に保管。

容器包装材料 : 情報無し



LBS002

細胞培養用添加剤(個別製品名は下表の通り)

Version 003 改訂日 2012年01月20日

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

TLV (Se \geq \downarrow \downarrow \downarrow 0. 2mg/m³

設備対策 : -

保護具

 呼吸器の保護具
 : 必要に応じマスク等を着用する。

 手の保護具
 : 必要に応じ保護手袋等を着用する。

眼の保護具 : 必要に応じ安全ゴーグル等を着用する。洗眼器の設置。

皮膚及び身体の保護具・必要に応じ長袖保護衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 液体 色 : 製品による

安全性データ

沸点 : -融点 : -

引火点: 情報無し発火点: 情報無し爆発性: 情報無し

蒸気圧 :

比重(密度): -

溶解度 (水、溶剤など) : 水 易溶 (46.2g/100mL、20℃) 分子量 : Na₂SeO₃ MW=172.937736

(Na= 22.989768, O= 15.9994, Se= 78.96)

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件下で安定

反応性 : 自己反応性無し

危険有害反応可能性 : 情報無し

避けるべき条件 : 情報無し 混触危険物質 : 情報無し 危険有害な分解生成物 : 情報無し



LBS002

003

細胞培養用添加剤(個別製品名は下表の通り)

Version 改訂日 2012年01月20日

11. 有害性情報

急性毒性 : 情報無し 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 情報無し : 情報無し 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 情報無し 呼吸器感作性 皮膚感作性 : 情報無し 生殖細胞変異原性 : 情報無し 発がん性 : 情報無し : 情報無し 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回暴露) : 情報無し 特定標的臓器毒性(反復暴露) : 情報無し 吸引性呼吸器有害性 : 情報無し

12. 環境影響情報

生態毒性 : 情報無し

残留性・分解性 : 情報無し

生体蓄積性 : 情報無し

土壌中の移動性 : 情報無し

オゾン層への有害性 : 情報無し

13. 廃棄上の注意

: 全ての法規制に準拠して廃棄する。 残余廃棄物

環境に廃棄してはならない。

汚染容器及び包装 : 許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。



LBS002

細胞培養用添加剤(個別製品名は下表の通り)

Version 003 改訂日 2012年01月20日

14. 輸送上の注意

国際規格

海上規制情報 : IMDG Code

クラス : 6.1 等級 : I

旅客禁止

航空規制情報 : ICAO/IATA

クラス : 6.1 等級 : I

旅客禁止

国連番号 : 2630

品名 : SELENATES or SELENITES

クラス: 6.1容器等級: I

輸送禁止

特別安全対策 : 運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損

傷しないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 第2条 別表第1毒物(セレン化合物及びこれを含有する製剤)

[亜セレン酸ナトリウム]

労働安全衛生法 : 施行令第18条の2別表第9(セレン及びその化合物1重量%を

超える製剤その他のもの)名称等を通知すべき有害物(MSDS)

化学物質管理促進法 : 施行令第1条別表第1第178号(セレン及びその化合物)第1

種指定化学物質 (PRTR·MSDS)

16. その他の情報

【作成年月日、改訂情報】

作成年月日 : 2011年02月22日 改 訂 日 : 2012年01月20日

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。